

## 資料 8

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和2年2月27日

北陸信越運輸局

評価対象事業名：地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

協議 会名	①補助対象 事業者等	②事業 概要	協議会における事業評価結果				地方運輸局等における二次評価結果	
			③前回(又は類似事業)の事業 評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果 達成状況	⑥事業の今後の 改善点	評価結果
五泉市地域 公共交通活 性化協議会	泉観光バス (株) みどりハイ ヤー(株)	ごせん乗合 タクシー「さく ら号」 (五泉東エリ ア)	高齢者を対象とした利用促進活 動を継続実施した。(免許返納 高齢者への制度説明)・利用者 の動態やニーズを把握 するた め、アンケート調査を実 施し た。	A	計画通り事業は適切に実 施された	A 輸送人員の目標値である前年比100%以上に対し、 104.7%を達成した。	今後も利用者数を維持するた め、利用促進や利便性向上に努 めていくとともに、今年度実施し た高齢者向けの利用促進活動 を継続・拡大のうえ実施を検討 する。(地域の茶話会でのPR等) また、予約お断りを削減する取 組みについて検討、実施する。	協議会における事業評価結果の③から⑤までにつ いては自己評価のとおりである。 なお、⑥の事業の今後の改善点については、ここ で示された改善策のみならず、さらなる実績向上に 向けて新たな改善策及びその具体化についても改め て検討し、その実施について地域一体となって適切 に進めていくとともに、今後も適切な検証を行い、地 域公共交通のさらなる持続性向上や利用促進が図 られるよう期待する。
	(有)フラワー 観光 泉観光バス (株) みどりハイ ヤー(株)	ごせん乗合 タクシー「さく ら号」 (五泉西エリ ア)	・周知を図るため、総合時刻表 の 配布先を拡大した。(医療機 関、 ハローワーク窓口、障がい 者施 設等)・利便性向上へ向 け、ドライバー やオペレーター のマナー改善等 に取り組ん だ。・利用者の動態やニーズを 把握 するため、アンケート調査 を実 施した。	A	計画通り事業は適切に実 施された	C 輸送人員の目標値である前年比100%以上に対 し、82.5%であり、目標を達成できなかった。利用者 減少は、40代・50代と高齢者層で現れており、40代・ 50代では通所や通院等で多く利用するヘビーユー ザーの影響(利用終了)、高齢者層では郊外地で進 む人口減少や免許保有者(率)の上昇に起因した実 利用者数の減少によるものと想定される。	若年層への対策として、引き続 きPR活動を継続し、知らないか ら利用できなかった方を減らすよ う周知に努める。 高齢者層へ の対策として、今年度実施した 高齢者向けの利用促進活動を 継続・拡大のうえ実施を検討す る。(地域の茶話会でのPR等) また、予約お断りを削減する取 組みについて検討、実施する。	協議会における事業評価結果の③から⑥までにつ いては自己評価のとおりであり、実績向上に向けて 具体的な改善策について引き続き検討し、その実施 について地域一体となって適切に進めていくととも に、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさら なる持続性向上や利用促進が図られるよう期待す る。

協議 会名	①補助対象 事業者等	②事業 概要	協議会における事業評価結果					地方運輸局等における二次評価結果	
			③前回(又は類似事業)の事業 評価結果の反映状況	④事業実施の適切性		⑤目標・効果 達成状況		⑥事業の今後の 改善点	評価結果
五泉市地域 公共交通活 性化協議会	泉観光バス (株) みどりハイ ヤー(株)	ごせん乗合 タクシー「さく ら号」 (村松エリ ア)	・周知を図るため、総合時刻表 の 配布先を拡大した。(医療機 関、 ハローワーク窓口、障がい 者施 設等)・高齢者を対象とし た利用促進活 動を継続実施し た。(免許返納 高齢者への制 度説明)・利便性向上へ向け、ド ライバー やオペレーターのマ ナー改善等 に取り組んだ。・利 用者の動態やニーズを把握 す るため、アンケート調査を実施し た。	A	計画通り事業は適切に実 施された	C	輸送人員の目標値である前年比100%以上に対 し、95.8%であり、目標を達成できなかった。 利用者 の減少は、買い物や通院など日常的な目的による 利用が多い70代・80代で主に現れている。要因とし て、郊外部で進む人口減少や高齢者の免許保有者 数(率)の上昇に起因した実利用者数の減少による ものと想定される。	高齢者層への対策として、今 年度実施した高齢者向けの利用 促進活動を継続・拡大のうえ実 施を検討する。(地域の茶話会 でのPR等) 合わせて、ドライ バーやオペレーターのマナー改 善など、継続して利便性の向上 に努める。 また、予約お断りを 削減する取組みについて検討、 実施する。	協議会における事業評価結果の③から⑥までにつ いては自己評価のとおりであり、実績向上に向けて 具体的な改善策について引き続き検討し、その実施 について地域一体となって適切に進めていくととも に、今後も適切な検証を行い、地域公共交通のさら なる持続性向上や利用促進が図られるよう期待す る。

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(地域公共交通調査等事業)**

令和2年2月27日

北陸信越運輸局

評価対象事業名: 地域公共交通調査事業(計画策定事業)

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果
		②事業実施の適切性	③計画策定に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果
五泉市地域公共交通活性化協議会	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状と課題の整理</li> <li>・上位関連計画等との位置づけの整理</li> <li>・アンケート調査等の実施</li> <li>・計画案の作成・法定協議会の開催</li> </ul> <p>【結果概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎データの整理、現況調査や事業者ヒアリングを実施し、五泉市の公共交通の現状を整理した。</li> <li>・上位計画である総合計画や、立地適正化計画等の関連計画との位置づけについて整理した。</li> <li>・市民および公共交通利用者向けのアンケート調査を実施し、移動特性やニーズ等について把握した。</li> <li>・現状把握とアンケート調査の結果分析を踏まえ、課題を抽出、整理した。</li> <li>・五泉市に適した公共交通網について検討し、計画の素案を作成した。(協議会は予定していた5回のうち4回目まで開催)</li> <li>・今後の協議会での検討を経て、五泉市地域公共交通網形成計画として最終的に取りまとめる。</li> </ul>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。	<p>五泉市において住民や来訪者の移動を確保してきた公共交通をこれからも守り続け、将来にわたり安心して快適に生活ができる移動手段の維持・確保を目指す。そのために、以下の4点について方針を定め、改善へ向けた取組みを進めるものとする。</p> <p>① 既存の公共交通ネットワークの維持(交通弱者の移動手段確保、公共交通空白地域の解消等)</p> <p>② 複合施設や東南環状線等のハード整備による土地利用の変化に対応した公共交通網への見直し(円滑なアクセスの確保・必要車両の更新等)</p> <p>③ さくら号の運行内容の改善(予約お断り件数の削減へ向けた増車や運行内容変更の取組み)</p> <p>④ 公共交通の利用促進(効果的なPRの実施、出前講座等の実施等)</p>	<p>協議会における事業評価結果の②については自己評価のとおりである。</p> <p>なお、③の計画策定に向けた方針については、国より示している基本方針等に従いつつ、地域公共交通網形成計画の策定に向けて、地域一体となって事業が進められることを期待する。</p>